

## ▶ (02) 掘削機械

15-(02)-03	加藤製作所 油圧ショベル (後方小旋回型) HD823MR-6	'15.03 発売 モデルチェンジ
------------	---------------------------------------	----------------------

23tクラスの後方小旋回型油圧ショベルであり、新型エンジンの搭載により排気ガス中のNO<sub>x</sub> (窒素酸化物)、PM (粒子状物質) を大幅に低減させ、オフロード法2011年基準に適合している。

標準型20tショベルと同等の性能を持ちながら、コンパクトな機体設計により標準型12tショベルよりも小さい後端旋回半径としている。さらに常時表示可能な大画面後方確認モニタを標準装備し、狭隘な場所での安全・円滑な作業を可能としている。

また、吸音材を効果的に配置し、標準仕様で国土交通省の超低騒音型建設機械の指定を受けている。

新型のコントローラ「APC300」は、作業に応じて「P (プロモード)」、 「A (オールラウンドモード)」、 「E (エコモード)」の3種の作業モードが選択できるため、パワーを重視した作業から、燃費を意識した作業まで行うことができる。

APC300の最適な制御により、従来機比で約10%の燃費低減 (Aモード時) を達成している。また、国土交通省の新技術情報提供システム (NETIS) 登録技術である待機時燃費低減システムによりアイドリング時のエンジン負荷を低減させ、ダンプ待ちなどのアイドリング時の燃費も従来機比で約4%低減させている。

整備性においては、燃料フィルタやエンジンオイルフィルタ類を地上から楽な姿勢で交換作業を行うことができる位置に配置している。エンジンオイル交換時は、ワンタッチ式ドレーンバルブにより手を汚すことなく排出ができるようになっている。

ICタグをダッシュボードの受信部にタッチすることでエンジンを始動する「新エントリーシステム」を採用し、セキュリティを向上させるとともに、エンジン始動キーとドアキーを一種に統合させることで利便性の向上も図っている。

GPSを利用した車両管理システムの機能を強化し、位置情報だけでなくメンテナンスデータなどの表示が可能となっている。また、スマートフォン等の各種携帯端末にも対応し、外出先からも機械の状態がチェック可能となっている。

表-1 HD823MR-6の主な仕様

バケット容量	(m <sup>3</sup> )	0.80
最大掘削深さ	(m)	6.69
最大掘削半径	(m)	9.91
最大掘削高さ	(m)	9.77
運転質量	(t)	22.4
定格出力	(kW (PS) / min <sup>-1</sup> )	112.5 (153) / 2,000
走行速度 (高速 / 低速)	(km/h)	5.5 / 3.6
登坂能力	(%)	70
接地圧	(kPa)	50
最低地上高さ	(m)	0.47
後端旋回半径	(m)	2.03
シュー幅	(m)	0.60
全長 × 全幅 × 全高 (輸送時)	(m)	8.83 × 2.82 × 2.96
価格 (税抜)	(百万円)	19.5



写真-1 加藤製作所 HD823MR-6 油圧ショベル (後方小旋回型)

問合せ先: (株)加藤製作所 営業本部

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-9-37